



おくの義務教育学校の教育について

第2号では、本年度の学校経営についてお伝えさせていただきます。

学校教育目標は、**夢と自信を持ち、おくのを支え、未来にはばたく児童生徒の育成**です。この学校教育目標の達成された児童生徒の姿として、以下の目指す児童生徒像を設定しました。

そして、これからの変化の激しい社会を生き抜く資質・能力を子ども達

- 夢や目標の実現に向け、根気よく学び続ける児童生徒
- 仲間と協力し、共に認め合い高め合う児童生徒
- 心身共にたくましい児童生徒
- おくのを知り、おくに貢献する児童生徒

に育成するために、以下のような経営ビジョンで取り組んでまいります。(主なものです)

- 義務教育9年間の系統性・連続性のある学びを展開していく
- 子ども達の学びが「主体的・対話的で深い学び」となるような授業改善に努める
- 様々な教科で学んだことが他の教科で活用できる場の設定や、地域の人や資源を効果的に活かせる教育活動を展開していく

学校が上記のようなビジョンで子ども達一人一人に質の高い学びを保障する中で、子ども達が校訓にある**深く学び、力を合わせ、たくましく生きる ～探究・協働・自立～**に向かって成長していけたらと考えております。是非、保護者の皆様にも学校経営方針を共有していただき、共に子ども達の成長に携わっていただけたらと存じます。

(裏面のグランドデザインを参照下さい。)

祝！第1回入学式

おくの義務教育学校第1回入学式が4月7日に行われました。コロナウイルス感染症拡大防止に対応し、短縮化した開催となりました。1年生、7年生がとても清々しく、式に臨む態度、話を聞く態度が実に立派でした。新聞社の取材もあり、取材に応じてくれた1年生は「新しい友達と会えてうれしかった」、7年生は「奥野小の伝統を守りつつ新しいことに挑戦したい」と感想を述べていました。一期一会、そして、チャレンジ精神を大切に学校生活を過ごして欲しいと思います。



〈校長のひとりごと〉

子ども達あつての学校。323名の子ども達あつてのおくの義務教育学校です。

子ども達のない教室は本当にさみしいかぎりです。右の写真は2年2組山内先生の教室です。黒板には5月7日の日付けが書かれ、子ども達が来た時のメッセージも書かれていました。ドラえもんが子ども達に呼びかけているかのようなようでした。5月7日の再会を何よりも楽しみにしていた先生の思いが伝わってきました。また、どのクラスも子どもたちを迎える準備が整えられ、先生方の温かい思いが感じられます。右の写真は畑を耕している先生方です。本当は子どもたちとわいわい一緒に作業したかっただろうな一と思いました。「子ども達と何の野菜を育てようかな」といった思いが作業する先生方の後ろ姿から伝わってきました。



【お知らせ】 5月11日(月)から、前期課程(1～6年生)の家庭訪問、後期課程(7～9年生)の課題確認日が始まりました。不安に思うことや相談などありましたら学校までお問い合わせ下さい。よろしくお願いたします。

令和2年度 おくの義務教育学校グランドデザイン

茨城県の教育目標
ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し
協力し合う心を育てる

校訓 深く学び、力を合わせ、たくましく生きる
～ 探究・協働・自立 ～

学校教育目標

夢と自信をもち、おくのを支え、未来にはばたく児童生徒の育成

牛久市の教育目標
知性にとみ 心身ともに健康で
人間性豊かな児童生徒の育成
1 確かな学力
2 豊かな心
3 健やかな体と安全・安心

目指す学校像

- 希望に満ちた活気あふれる学校
- 楽しく生き生きと学び合う学校
- 地域に信頼される開かれた学校

目指す児童生徒像

- 夢や目標の実現に向け、根気よく学び続ける児童生徒
- 仲間と協力し、共に認め合い高め合う児童生徒
- 心身ともにたくましい児童生徒
- おくのを知り、おのくに貢献する児童生徒

おくのの合言葉：元氣・本氣・根氣

目指す教師像

- 一人一人を大切に、子どもと共にある教師
- 人間性豊かで感化できる教師
- 専門家として自己研鑽に努める確かな力量のある教師

活気あふれる学校づくり
～「つなぐ」を大切にした教育～

学校経営ビジョン

一人残らず質の高い学びを
保障する学校づくり

- 1 「義務教育学校」・「小規模校」の強みを活かした教育活動の充実
○義務教育9年間の系統性・連続性のある学びで「つなぐ」 ○小規模校ならではの密度の濃い関わり、フットワークのよさで「つなぐ」
- 2 育成する資質・能力を明確にした「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の視点からの授業改善
○人・モノ・ことを「つなぐ」学び ○子どもの活動を3つの柱(学びに向かう力・人間性等、思考力・判断力・表現力等、知識・技能)に「つなぐ」
- 3 カリキュラム・マネジメントの視点に立った教育課程編成の工夫
○教科・領域間の学びを「つなぐ」 ○R-PDCAサイクルで「つなぐ」 ○内外リソース(人的・物的資源)を効果的に教育活動に「つなぐ」
- 4 働き方改革の推進(時間を生み出す工夫)
○勤務時間管理、業務の効率化、行事の精選等で生み出した時間を子どもと向き合う時間、教師の自己研鑽の時間に「つなぐ」
- 5 「共に子どもを育てる」を活動テーマとしたコミュニティ・スクールの推進
○おくのの地域と子どもの学びを「つなぐ」 ○育てる子ども像を共有し、連携・協働することを通して学校、家庭、地域を「つなぐ」

組織目標

◎「つなぐ」を大切にした教育活動を通して、子どもに育成すべき資質・能力を育む

- 1 主体的・対話的で深い学びを視点にした「つながり」のある授業づくりを通して(特に、表現力の育成)
- 2 一人一人が自らのよさを発揮し、認め合い高め合う「つながり」のある集団づくりを通して(特に、自己有用感の育成)

重点的な施策

おくの義務教育学校における特色ある教育活動の推進

「英語教育」

- 9年間を通じた英語教育・外国語活動の充実
- イングリッシュタイムの充実
- プリティッシュヒルズ外国語宿泊研修の活用
- 海外の学校との交流 ○ 英検への挑戦

「環境・郷土教育(ESD)」

- 9年間を継続した学び、自らの問題解決の流れ
- ユネスコスクールとしての活動(SDGsを見据えた活動)
- 地域を知る、地域から学ぶ、地域に貢献する学習の展開
- アサザ基金・地域団体と協働した学習

「確かな学力」の育成

- 探究、協働的な学びのある授業づくり
- 言語活動の充実 ○ 表現力の育成
- 家庭学習の習慣化 ○ ICTの活用
- 外部講師を招聘した校内授業研究会

「豊かな心」の育成

- 縦割り班活動や保育園との交流の推進
- 体験活動の充実(自ら問題に気付く場)
- 道徳教育の充実(特別の教科 道徳)
- 特別活動の充実(事前・事後の指導)

「健やかな体」の育成

- 体育的行事の充実
- 業間運動(1～4年)部活動(5～9年)の充実
- 食育・保健教育の推進(GT活用)
- 9年間を通じた体力向上の推進

「おくのコミュニティ・スクール」の推進

「共に子どもを育てる」を活動テーマとする「学校運営協議会」を核とした地域と共にある学校づくり

- おくの学校運営協議会の運営の充実
 - ・授業支援部・・・授業への支援、授業に必要な人材の確保・連絡・調整 総合的な学習の時間、専門的な知識や経験を生かした授業支援
 - ・安全安心部・・・児童生徒が安心して生活できる環境づくり 登下校の見守り、通学路の安全確保、花壇の手入れ、除草作業等
 - ・地域連携部・・・地域と児童・生徒・学校との連携・協力の充実 児童生徒が地域に貢献できる場の設定(おくのふれあいまつり、収穫祭等)
 - ・事務局・・・学校運営協議会の運営・広報 学校運営協議会の運営(資料作成、記録、調整等)、ホームページ等による広報